

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	廃棄物対策の推進					
(2)	総合計画の体系	第	5	章	環境を守り育てるまちづくり		
		第	3	節	循環を基調とするまちづくり		
		第	20	細節	廃棄物対策の推進		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		3,387,401	3,719,468	3,548,908	
		従事職員数		112.29 人	108.48 人	107.18 人	
		所要人件費(B)		892,374	906,027	875,661	
		総事業費(A+B)		4,279,775	4,625,495	4,424,569	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	541	338	337
				その他	537,096	497,254	494,965
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	412	334
一般財源	3,742,138			4,127,491	3,928,933		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	ごみの排出量	目標値	114,299.00	112,528.00	109,556.00
	ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収量	(単位:t)			
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	実績値	113,145.77	114,081.56	/
		(単位:t)			
		達成度(%)	99.0	101.4	
指標内容	リサイクル率	目標値	19.30	20.10	21.00
		(単位:%)			
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	実績値	17.62	16.61	/
		(単位:%)			
		達成度(%)	91.3	82.6	

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

ごみの減量・資源の有効利用は、廃棄物行政の主要な事業として、着実に成果を上げていく必要があります。人口が増加傾向にあり家庭系ごみの収集処理件数が増える中、市民のごみ減量に対する意識の向上につながる施策を講じていますが、十分機能していない事業もあり、事業内容について検討すべきと考えています。ごみ処理に関しては、設備の老朽化対応や委託料等のコストが大きいですが、市民生活には欠くことのできない事業であり、視点からの評価点数が必ずしも優先順位とは結びつきません。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業	環境政策室	00632	全部	大	20	18	16	18	16	88	継続
2	ごみ減量・再資源化啓発事業	環境政策室	00633	全部	大	14	20	18	18	16	86	継続
3	廃棄物減量等推進員事業	環境政策室	00634	全部	大	14	16	16	18	18	82	継続
4	ごみ分別排出啓発事業	事業課	00663	なし	大	16	18	18	18	18	88	継続
5	資源リサイクルセンター事業	環境政策室	00635	全部	大	14	12	12	18	14	70	継続
6	事業所減量・資源化指導事業	事業課	01088	なし	大	20	18	18	20	16	92	継続
7	一般廃棄物処理基本計画見直し事業(廃棄物減量等推進審議会運営)	環境政策室	01303	なし	大	16	14	12	20	16	78	継続
8	資源循環エネルギーセンター塵芥焼却処理事業	資源循環エネルギーセンター	00668	なし	大	20	20	18	20	16	94	継続
9	ごみ処理事業	破碎選別工場	00670	全部	大	18	20	14	20	18	90	継続
10	家庭系ごみ収集運搬直営事業	事業課	00659	なし	大	20	18	18	18	20	94	継続
11	家庭系ごみ収集運搬委託事業	事業課	00660	なし	大	20	18	20	20	10	88	継続
12	公共施設収集運搬委託事業	事業課	00661	なし	大	20	18	16	18	20	92	継続
13	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業	事業課	00662	なし	大	20	14	16	20	18	88	継続
14	ペットボトルの選別・圧縮及び保管事業	破碎選別工場	00671	全部	大	18	20	14	18	18	88	廃止
優先順位をつけるにあたっての考え方		廃棄物行政の主要な事業であるごみ減量・資源化に関する業務を上位としています。										

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低					合 計	今 後 の 方 向 性 ( 実 施 計 画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性		
15	し尿収集運搬処理事業	事業課	00665	なし	大	14	20	16	12	16	78	継続
16											0	
17											0	
18											0	
19											0	
20											0	
21											0	
22											0	
23											0	
24											0	
25											0	
26											0	
27											0	
28											0	
優先順位をつけるに あたっての考え方		廃棄物行政の主要な事業であるごみ減量・資源化に関する業務を上位としています。										